

科目ナンバー	SOC-2-009-sn			科目名	ポップカルチャー論		
教員名	西原 志保			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	本講義では、現代アートにおける人形や、人形の描かれるポップカルチャー作品を中心にすることで、現代における自己と身体、労働と金銭の関係などを探っていきます。現代社会においては多くの場合、よほどの不労所得があるか、誰かに扶養されているのでない限り、労働してお金を稼がなければ自分の体を養うことができません。このような社会においては、自分の体が無償で存在しているのではなく、社会に対する巨大な負債のように感じられます。そして労働してお金を稼ぐことは、絶え間なく自分の存在を経済的な価値で換算することにつながります。自分の体をお金で売り払っているのか、お金で買い戻しているのか。ともかく、経済活動の中に取り込まれ、容易に身体を自分のものとして感じ取ることができません。このような現代社会において、どのように自分の体を取り戻せばよいのか、通常「物」として考えられている人形へのアプローチを通して考えます。人形は人の形をとるものであることで、人間とは何かという概念や、身体感覚と結びつきます。人形は伝統工芸的なものから現代アート、ポップカルチャーまで広範な分野にまたがりますが、特に現代社会の影響の強いポップカルチャー作品における人形表象を見ることで、現代社会における身体や自己について考えることができるでしょう。特に近年いわゆる「ゴスロリ」系の女性たちの間で流行していることに注目します。						
到達目標	アニメや漫画、映画などについて、様々な資料を参照し、関連づけながら、自分の読みを提示するスキルを身につけます。単なる好き嫌いではなく、自分がなぜそれを好き、あるいは嫌いなのか分析できるなど、自分自身の考えや感覚を明確に言語化するとともに、社会や文化現象などと関連づけて考える能力を身につけます。先行研究が少ないものについて論じる場合でも、何を調べればよいのか見当をつけられるような知識とセンスを身につけます。と同時に、レポートなど学術的な文章を書くための基本的なスキルについて確認し、習熟します。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	講義形式で60分程度授業を行った後、30分程度質疑応答及びリアクションペーパーを書く時間をとります。適宜小休憩の時間をとり、受講者数にもよりますが、自由に話し合ってもらえる時間を取ります。また、リアクションペーパーの代わりに、簡単な小レポートを課す場合もあります。リアクションペーパーや授業中の反応を見て、講義の内容を変更する場合があります。期末試験はレポート、ないしは持ち込み自由で与えられた課題(事前に告知)について論じる形の試験を行います。課題の提出については、Moodleを使用します。						
アクティブラーニング				サービスラーニング		課題解決型学修	
受講条件 前提科目	特にありません。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点(授業態度及びコメントペーパー)30%、期末レポート70%※期末試験の場合、講義中に課題をお伝えし、持ち込み自由で行います。※剽窃に対しては厳正に対処します。						
教材	教科書は使用しません。資料を配布します。						
参考図書	金森修『人形論』平凡社、2018年、菊地浩平『人形メディア学講義』河出書房新社、2018年、『夜想 特集:ゴス』ステューディオ・パラボリカ、2003年9月『夜想 特集:ドール』ステューディオ・パラボリカ、2004年10月『ユリイカ 特集:人形愛あるいは、DOLL』2005年5月号、青土社、河野真太郎『戦う姫、働く少女』堀之内出版、2017年、山崎明子、藤木直実(編)『〈妊婦〉アート論』青弓社、2018年、千田洋幸『ポップカルチャーの思想圏:文学との接続可能性あるいは不可能性』おうふう						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス 本講義の目的・基本的な確認事項						
授業外学修内容	配布資料に目を通しておくこと。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	ポップカルチャーと人形						
授業外学修内							

容	復習および翌週の予習	時間数	1
3週目			
授業学修内容	球体間接人形の思想史		
授業外学修内容	復習および翌週の予習	時間数	1
4週目			
授業学修内容	人形と心と体:PEACHPIT『ローゼンメイデン』		
授業外学修内容	復習および翌週の予習	時間数	1
5週目			
授業学修内容	サイボーグと人形と労働:『R.U.R』『ブレードランナー』『イノセンス』		
授業外学修内容	復習および翌週の予習	時間数	1
6週目			
授業学修内容	仕事と人形と動物:『トイストーリー4』		
授業外学修内容	復習および翌週の予習、レポート課題を徐々に決める	時間数	2
7週目			
授業学修内容	女の子とお仕事①:アイドルの恋愛禁止、『逃げるは恥だが役に立つ』		
授業外学修内容	復習および翌週の予習、レポート課題を徐々に決める	時間数	2
8週目			
授業学修内容	女の子とお仕事②:『逃げるは恥だが役に立つ』とはるな檸檬『ダルちゃん』		
授業外学修内容	復習および翌週の予習、レポート課題にとりかかる	時間数	2
9週目			
授業学修内容	人形と妊娠と摂食障害:三原ミツカズ『DOLL』		
授業外学修内容	復習および翌週の予習、レポート課題を進める	時間数	2
10週目			
授業学修内容	痛みを通して考える:松井冬子「浄相の持続」、飛浩隆『グラン・ヴァカンス』『ラギッド・ガール』		
授業外学修内容	復習および翌週の予習、レポート課題を進める	時間数	2
11週目			
授業学修内容	京極夏彦の人形論:人間＝精神論の限界と叛乱する細部＝身体		
授業外学修内容	復習および翌週の予習、レポート課題を進める	時間数	2
12週目			
授業学修内容	ラブドールとぬいぐるみ、魂としての蝶:森見登美彦『四畳半神話体系』		
授業外学修内容	翌週の予習、レポート課題を進める	時間数	2
13週目			
授業学修内容	血と出産とラブドール—是枝裕和『空気人形』		
授業外学修内容	復習および翌週の予習、レポート課題を進める	時間数	2
14週目			
授業学修内容	自然な去勢と人工的な生殖:菅実花『ラブドールは胎児の夢を見るか?』		
授業外学修内容	復習および翌週の予習、レポート課題を進める	時間数	2
15週目			
授業学修内容	まとめ:私たちはすでに人形である、及び試験(レポート)について		

授業外学修内容	復習、全体のまとめ、レポートを仕上げる	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		25	
その他に必要な自習時間		65	

Number	SOC-2-009-sn	Subject	Pop Culture Studies		
Name	西原 志保 (Nishihara Shiho)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	0 In this course, we will consider pop culture works on which dolls are drawn.				